

元気いっぱい 友だちいっぱい
すすんで学ぼう 夢つぼもう

横浜市立美しが丘小学校 平成28年8月29日



美小通信 5

横浜市情報教育ネットワーク(YI ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushi-gaoka/>

学校長 畠山 真

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

区水泳記録会

校長 畠山 真

八月も下旬に入り、虫の声とともに長月を迎えます。

この夏休みは、リオデジャネイロオリンピックがあり、毎日地球の反対側から送られてくる映像にくぎ付けになりました。日本は、史上最多のメダルを獲得しました。4年間の思いをこのオリンピックにぶつけた人、初めてオリンピックに参加しメダルを取った人、確実と言われた金メダルが取れなくて悔し涙を流す人、メダルが取れなくてやっとの思いで声を振り絞ってインタビューに答える人。映像がその時々の選手の表情を映し出し、とてもすばらしい光景を見せてくれました。悲喜こもごも、それぞれが様々な思いをもってオリンピックに臨んだと思いますが、ぜひ次回の東京オリンピックでまた力を発揮してほしいと思います。

そして、高校野球も連日熱戦を繰り広げ、高校球児だった私にとって、とても思い出に残る試合を選手たちは見せてくれました。高校生たちが、無心に白球を追いかける姿はいつ見てもすばらしいと思いました。

さて、7月28日に青葉区の水泳記録会が山内小のプールで行われました。プールは、今年新しくできたところで、参加した選手たちは気持ちよく水しぶきを上げて、泳いでいました。本校からは、15名の選手が参加し、市の水泳大会に2名が選ばれました。水泳記録会には5校の児童が参加し、それぞれの種目で一生懸命に泳いでいました。とても速い泳ぎ方をする人、他の人の見本となるような美しい泳ぎ方をする人、やっと25mを泳ぎ切る人など様々でした。

その泳いでいる様子を見ていて、ふと目を引き付ける場面がありました。速く泳いでもうゴールした人がいるのに、まだプールの半分くらいしか泳いでいない人がいました。それでもその人は、必死に手と足を動かして、ゴールをめざして泳いでいました。その時、どこからともなく、

「がんばれ、がんばれ、もう少し。」

という声が聞こえてきました。応援している子どもだけではなく、引率してきた先生方や役員の先生方も大きな声で、声援を送り励ましていました。会場が一体となってその子がゴールする瞬間まで応援していました。見ていてとても胸が熱くなりました。一生懸命にゴールをめざして泳ぐ姿に感動し、みんなは大きな声援を送りました。その時、ふと障害者への殺傷事件を思い出しました。弱い人に対して、いらないから抹殺するとか、何という愚かな発想なんだろうと強い憤りを感じました。だれもが必死に生き、必死に生活しているのです。弱い立場の人を切り捨てるというのは、許されるものではありません。

この水泳の様子を見ていて、速く泳げなくても一生懸命にゴールにたどり着こうとする姿こそ大切なのではないかと思います。

子どもたちが、一生懸命に取り組む姿は本当にすばらしく、夏休みの思い出に残る貴重な水泳記録会となりました。